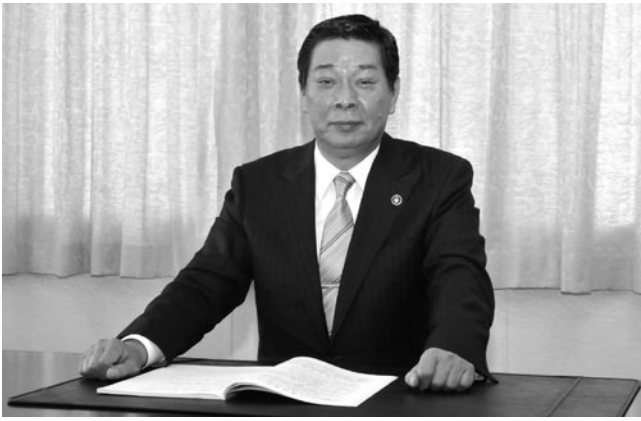


オムニロードのまちづくり

住んでよく訪ねてよくの行田へ

市長就任のご挨拶

はじめに、東日本大震災でお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を捧げるとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。被災地の復興には長期的な支援が必要です。今後とも息の長い支援活動を続けてまいりますので、



市長 正司 藤 工

市民の皆様の一層のご協力を心からお願いいたします。

さて、私は先般の市長選挙におきまして、市民の皆様のご支援とご厚情を賜り、引き続き市政の重責を担わせていただくこととなりました。誠に光栄に存じますとともに、寄せられた期待の大きさと責務の重さに改めて身の引き締まる思いでございます。

これまでの4年間、初心を片時も忘れることなく、皆様からお寄せいただいた信頼と期待に真正面からお応えするため、何事もスピード感を持って全力で取り組んでまいりました。

特に、最重要課題に掲げた財政健全化は、今日の不況の煽りを受けながらも、4年間で市の借金を約40億円削減するなど、足腰の強い財政基盤の確立に向けて一定の成果を得ることができました。さらに、南大通線的全線開通をはじめ、映画「のぼりの城」に関連する観光施策、B級グルメや田んぼアートなど、行田ならではのまちづくりは全国の熱い注目と期待を集め、今、大きな躍進を遂げよう

としております。

こうしたなか、本市では「古代から未来へ 夢をつなぐまち ぎょうだ」を将来像とする新たなまちづくりビジョン「第5次行田市総合振興計画」が、本年4月からスタートしました。

私は、市民の皆様の大きな夢と希望が詰まったこの行田未来計画の実現に向け、市民が主役のまちづくりを基本として、新たに「ぬくもり」「うるおい」「にぎわい」を柱とするまちづくりを、大胆かつきめ細やかに進めていく所存であります。

このため、さらなる行財政改革と財政健全化に取り組むとともに、すべては行田市の限らない発展と、8万7千行田市民の幸せのために、新たな決意と確固たる信念を持って、全身全霊を傾けて明日の元気な行田を力強く切り拓いていく覚悟でございます。

市民の皆様には、市政に対する絶大なご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

